

2024 年度 近畿本部化学部会 12 月度講演会の開催のお知らせ

今年の 12 月度講演会は、「化学技術力の発揮」をテーマに、以下の 2 講演を企画しました。近畿本部会場出席（定員 18 名）とテレワーク（TW）式を併用しての開催です。奮ってご参加頂きますようお願い致します。

- 日 時：2024 年 12 月 14 日（土） 13：30～17：00 （受付：13：00～13：30）
- 場 所：(公社) 日本技術士会 近畿本部会議室（近畿富山会館 2 階）+web(Teams 配信)
- 内 容：

講演 I： 13：30～15：00

演題： キラルクロマトグラフィーの進歩と応用

講師： 西岡 亮太 技術士（化学、総合技術監理）、博士（薬学）

西岡技術士事務所（元・株式会社住化分析センター）

要旨： 昨年、はやぶさ 2 が地球に持ち帰った小惑星リュウグウの試料の分析結果をまとめた論文が公表され、大きな注目を集めた。その中で、アミノ酸のキラル分析には、高速液体クロマトグラフィー（HPLC）による分離技術が用いられている。本講演では、キラルクロマトグラフィーの歴史と現在までの進歩を概説し、演者が開発に携わったホストゲスト形キラル固定相の分離特性とその応用に関する知見を紹介する。

講演 II： 15：10～16：40

演題： 生物学と化学をつなぐ技術の最前線

講師： 河野 猛 技術士（生物学、総合技術監理）、近畿本部生物学部会長

独立行政法人 中小企業基盤整備機構 神戸医療機器開発センター

要旨： 生物学は動物細胞、微生物、植物細胞が持つプロセスを通して化学物質や医薬品、食品の生産や環境浄化を効率的かつ持続可能な方法を提供する技術である。化学はこれらのプロセスを理解し制御するための理論的基盤を提供し、反応工程の最適化に不可欠となる。生物学と化学の交差点に位置する革新的な技術について、合成生物学とケミカルバイオロジーによる医薬品、環境配慮型化学物質、再生医療等製品の生産、バイオプロセスの最適化、環境浄化に焦点を当て総論的に紹介する。

事務連絡・閉会： 16：40～

- 申込方法：以下の URL より 12/11 までに申込みください。

<https://forms.gle/RRqJSjLQjE62RpQC9>

払込先：参加費は下記の口座に、**事前に**振込みください。

送金先 KL：ゆうちょ銀行「日本技術士会近畿本部化学部会」14310-83365591

送金先 KM：三井住友銀行園田支店「日本技術士会近畿本部化学部会」422-5242598

参加費（資料代）：会員 1,000 円、非会員 2,000 円、近畿本部協賛団体（化学部会）は無料

会員：日本技術士会員（KL 口座）、化学物質管理研究会員（KM 口座）、他はどちらも可

資料配布法：電子ファイルにて、一括メール送信方法にて、開催前にお送りします。

CPD 参加票：講義終了後に参加者にお送りします。

問合せ先：中田 将裕 masapechem@gmail.com（当日の緊急連絡用）080-3463-8038

以上